

- 問1 縄文時代の遺跡において、海岸や水辺に近い集落付近で見つかる、食べた後の貝殻や魚の骨、破損した土器などが堆積した場所を何といいますか。当時の人々の「ゴミ捨て場」としての性格を持ち、生活の痕跡（生活跡）を現代に伝えるものを選びなさい。（2024年 大分県公立入試 類似）
1. 古墳 2. 貝塚 3. 高床倉庫 4. 環濠集落
- 問2 北海道やその周辺地域において、樹皮を加工した繊維で織られた「アットウシ」と呼ばれる伝統的な衣服や、独自のアイヌ語といった文化を継承してきた、法律によって日本の先住民族と明記されている人々を何と呼びますか。（2026年 埼玉県公立入試 類似）
1. 渡来人 2. 琉球民族 3. 大和民族 4. アイヌ民族
- 問3 山形県の西ノ前遺跡から出土した「縄文の女神」に代表される、縄文時代に作られた土製の人形について、その名称と当時の人々が込めた願いの組み合わせとして正しいものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）
1. 勾玉 — 魔除けや身分を示す装飾品とするため 2. 銅鐸 — 稲作の豊作を願う祭りの道具とするため 3. 埴輪 — 亡くなった王の権威を示し、供養するため 4. 土偶 — 豊かな収穫や安産を祈るため
- 問4 縄文時代における人々の生活環境の変化と、道具の使用に関する説明として最も適切なものはどれですか。（2016年 富山県公立入試 類似）
1. 大陸から稲作が伝来したことで、収穫した穀物を大量に貯蔵するための薄くて赤褐色の土器が広く普及した。 2. 気候が温暖になり動植物の食料が豊富になったことで定住が進み、食料の加工や保存のために土器が作られた。 3. 有力な首長が各地に出現し、集落を守るための環濠や、身分を象徴する豪華な副葬品としての土器が作られた。 4. 氷河期の影響で大型の獣を追う移動生活が中心となり、獲物を仕留めるために磨製石器が初めて登場した。
- 問5 約1万以上続いた縄文時代の生活スタイルと、そこで使われた道具の関係について、正しい説明はどれですか。（2024年 熊本県公立入試 類似）
1. 文字が発明されたことで、法律や契約に基づいた高度な都市生活が営まれた 2. 大型の石造建築が造られ、それらを装飾するために精巧な土器が発達した 3. 磨製石器や弓矢、土器などが使われ、自然環境に合わせた定住生活が行われた 4. 青銅器や鉄器が普及したことで、大規模な戦争や移動生活が繰り返された
- 問6 日本の東北地方、現在の青森県に位置する縄文時代を代表する遺跡について、その名称と時代の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2023年 徳島県公立入試 類似）
1. 吉野ヶ里遺跡 — 弥生時代 2. 三内丸山遺跡 — 縄文時代 3. 登呂遺跡 — 弥生時代 4. 三内丸山遺跡 — 弥生時代
- 問7 青森県に位置する縄文時代最大級の集落跡についての記述です。この遺跡では、直径約1メートルもの栗の木の柱を用いた巨大な掘立柱建物跡や、当時の人々が居住した大型のたて穴住居跡が数多く発見されています。この遺跡の名称として正しいものを選びなさい。（2024年 福島県公立入試 類似）
1. 登呂遺跡 2. 吉野ヶ里遺跡 3. 三内丸山遺跡 4. 岩宿遺跡
- 問8 縄文時代の遺跡に関する調査報告において、「集落の近くから丸木舟が発見されたこと」と「大規模な貝塚が形成されていたこと」が同時に示される場合があります。これらの事実から導き出される、当時の人々の生活背景として最も適切な説明を選びなさい。（2024年 大分県公立入試 類似）
1. 海や川の資源を積極的に利用しており、漁労が生活を支える重要な手段であった。 2. 稲作が普及したことで定住が進み、余った食料を貯蔵するために大規模な施設を作った。 3. 大陸との公的な交易を行うため、大型の船を建造して組織的な外交を行っていた。 4. 集落間の争いが激化したため、外敵の侵入を防ぐ目的で集落の周囲に堀を巡らせた。
- 問9 日本の歴史において、縄文時代に定住生活が始まり、生活が安定する中で普及した、表面をみがいて形を整えた石器を何と呼びますか。（2018年 徳島県公立入試 類似）
1. 青銅器 2. 磨製石器 3. 鉄器 4. 打製石器
- 問10 日本の古代文化における「土偶」と「はにわ」の違いについて、時代背景と目的の観点から説明したものとして正しいものはどれですか。（2026年 千葉県公立入試 類似）
1. 土偶は写実的な人物像として奈良時代に完成したが、はにわは縄文時代に土器の蓋として実用的に使われていた。 2. 土偶は権力者の死を悼むために古墳の内部に納められたが、はにわは狩猟の成功を願って森の入り口に置かれた。 3. 土偶は弥生時代に大陸から伝わった青銅器の一種であるが、はにわは飛鳥時代に仏教とともに伝わった石像の技術で作られた。 4. 土偶は縄文時代に作られ、豊穡や魔除けを祈る呪術的な道具であったが、はにわは古墳時代に作られ、古墳を飾り立てるためのものであった。
- 問11 縄文時代の人々の暮らしと文化についてまとめた資料によると、当時の人々は磨製石器などの道具とともに、土器を作り始めました。縄文時代において、土器が果たした主な役割として適切なものはどれですか。（2018年 徳島県公立入試 類似）
1. 木の実などの食料を煮炊きしたり、保存したりするため 2. 大陸との交易において、貨幣の代わりとして使用するため 3. 金属を溶かして、より強力な武器を作るため 4. 大規模な稲作を行うための、種みを長期間保管するため
- 問12 縄文時代の遺跡から数多く出土する、主に女性をかたどったとされる土製の像を何と呼びますか。自然の豊かな実りや、病気・けがの回復を願うまじないの儀式に使われたと考えられているものを選びなさい。（2023年 徳島県公立入試 類似）
1. 埴輪 2. 銅鐸 3. 土偶 4. 石包丁
- 問13 青森県に位置し、大型掘立柱建物跡などの発見によって縄文時代の定住生活の実態を明らかにした、日本最大級の集落跡は何か。（2025年 北海道公立入試 類似）
1. 三内丸山遺跡 2. 登呂遺跡 3. 岩宿遺跡 4. 吉野ヶ里遺跡
- 問14 縄文時代の遺跡である貝塚の周辺から発見される、表面に縄目などの特徴的な文様が施された道具について、その主な使用目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2019年 群馬県公立入試 類似）
1. 亡くなった人を埋葬する際に、副葬品として納める祭祀専用の道具として用いられた。 2. 大陸から伝わった青銅器や鉄器を加工するための、高温の炉として用いられた。 3. 収穫した稲を長期間蓄えるための、貯蔵専用の器として主に用いられた。 4. 採取した木の実などの食料を煮炊きしたり、保存したりするために用いられた。